

# 市議会だより

## かしば

# 人・街・暮らし

No.135

■発行：香芝市議会 ■編集：香芝市議会だより編集委員会  
■連絡先：〒639-0292 香芝市本町1397 香芝市議会事務局 ☎76-2001(代)



▲子どもの日のつどい(志都美保育所)

### おもな内容

- 平成24年3月定例会の結果 …… 2～3 P
- 委員会付託議案の概要 …… 3 P
- 議員倫理特別委員会の概要 …… 3 P
- 予算特別委員会の概要 …… 4 P
- 一般質問 …… 5～9 P
- 議会日誌 …… 10 P



## 平成24年3月第1回定例会

平成24年第1回定例香芝市議会は、3月5日から26日までの22日間の会期で行われました。

本定例会では、理事者から提出された報告事項1件、条例の一部改正7件、補正予算7件、新年度予算8件、認定・廃止2件、同意1件、諮問1件、議員提出議案1件、意見書1件について慎重に審議しました。

### 審議結果

《理事者提出議案》

議案番号	件名	審議の結果(議長を除く)	
報第1号	香芝市市営土地改良事業賦課金徴収条例の一部を改正する条例の専決処分の報告について	報告受理	
議第1号	香芝市税条例の一部を改正することについて	原案可決 (出席17名)	賛成15名 反対2名
議第2号	香芝市公民館条例の一部を改正することについて	原案可決 (出席17名・全会一致)	
議第3号	香芝市立学童保育所条例の一部を改正することについて	原案可決 (出席17名・全会一致)	
議第4号	香芝市介護保険条例の一部を改正することについて	原案可決 (出席17名)	賛成15名 反対2名
議第5号	香芝市国民健康保険条例の一部を改正することについて	原案可決 (出席17名)	賛成15名 反対2名
議第6号	香芝市地区計画区域内建築物の制限に関する条例の一部を改正することについて	原案可決 (出席17名・全会一致)	
議第7号	香芝市営住宅条例の一部を改正することについて	原案可決 (出席17名・全会一致)	
議第8号	平成23年度香芝市一般会計補正予算(第4号)について	原案可決 (出席17名・全会一致)	
議第9号	平成23年度香芝市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)について	原案可決 (出席17名・全会一致)	
議第10号	平成23年度香芝市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について	原案可決 (出席17名・全会一致)	
議第11号	平成23年度香芝市介護保険特別会計補正予算(第2号)について	原案可決 (出席17名・全会一致)	
議第12号	平成23年度香芝市下水道事業特別会計補正予算(第1号)について	原案可決 (出席17名・全会一致)	
議第13号	平成23年度香芝市財産区財産特別会計補正予算(第2号)について	原案可決 (出席17名・全会一致)	
議第14号	平成23年度香芝市水道事業会計補正予算(第1号)について	原案可決 (出席17名・全会一致)	
議第15号	平成24年度香芝市一般会計予算について	原案可決 (出席17名)	賛成15名 反対2名
議第16号	平成24年度香芝市国民健康保険特別会計予算について	原案可決 (出席17名)	賛成15名 反対2名
議第17号	平成24年度香芝市後期高齢者医療特別会計予算について	原案可決 (出席17名)	賛成15名 反対2名
議第18号	平成24年度香芝市介護保険特別会計予算について	原案可決 (出席17名)	賛成15名 反対2名
議第19号	平成24年度香芝市下水道事業特別会計予算について	原案可決 (出席17名・全会一致)	
議第20号	平成24年度香芝市土地取得特別会計予算について	原案可決 (出席17名・全会一致)	
議第21号	平成24年度香芝市財産区財産特別会計予算について	原案可決 (出席17名・全会一致)	
議第22号	平成24年度香芝市水道事業会計予算について	原案可決 (出席17名・全会一致)	

議案番号	件名	審議の結果(議長を除く)
議 第 23 号	香芝市道路線の認定について	原案可決 (出席 17 名・全会一致)
議 第 24 号	香芝市道路線の廃止について	原案可決 (出席 17 名・全会一致)
同 第 1 号	香芝市固定資産評価審査委員会の委員の選任につき同意を 求めることについて	原案同意 (出席 17 名・全会一致)
諮 第 1 号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	原案承認 (出席 17 名・全会一致)

《議員提出議案》

議案番号	件名	審議の結果(議長を除く)
意 見 書 第 1 号	こころの健康を守り推進する基本法の制定を求める意見書(案)	原案可決 (出席 17 名・全会一致)
発議第 1 号 (追加議案)	香芝市議会議員政治倫理基準を定めることについて	原案可決 (出席 16 名) 賛成 14 名 反対 2 名

主な議案内容と委員会審査の概要(抜粋) (平成 24 年 3 月 第 1 回 定例会)

議第3号 香芝市立学童保育所条例の一部を改正する  
(原案可決) ことについて

【議案内容】

下田学童保育所の児童数の増加に伴い、現在の施設を閉鎖し、新たに北今市に学童保育所を移設するため、条例の一部改正をするものである。



▲下田学童保育所

【審査の概要】

(質疑) 現在の下田学童保育所の利用者数、また、移転理由は何か。  
(答弁) 児童数は 89 名であり、移転理由は建物が狭隘なため移転する。

議第5号 香芝市国民健康保険条例の一部を改正する  
(原案可決) ことについて

【議案内容】

国民健康保険法施行令の一部改正により、保険料の賦課限度額が引き上げられたことに伴い、本市が行う国民健康保険の持続安定的な運営に資するため、条例の一部改正をするものである。

【審査の概要】

(質疑) 賦課限度額について、国民健康保険料、後期高齢者支援金等、介護給付金を合わせて4万円の値上げになるが、その点はどのように考えているのか。  
(答弁) 賦課限度額を上げることにより、低所得者の保険料負担の軽減をはかりたい。

香芝市議員倫理特別委員会概要 (2月27日、3月15日開会)

【審査の概要】

委員会で懸案となっていました「建設水道委員会における議員発言」、また「議員倫理(口利き)」の問題については、当事者から、議長へ陳謝文が提出され、十分に反省された内容であったため、本件については審査を終了しました。

また、議員倫理の基準を明確にする為、「香芝市議会議員政治倫理基準」を作成し、委員長発議で発議第1号香芝市議会議員政治倫理基準を定めることについてを最終本会議に提案し、原案のとおり可決されました。

なお、本委員会は調査が全部終了したため消滅することに決しました。

香芝市議会議員政治倫理基準は、下記のとおりです。

香芝市議会議員政治倫理基準

香芝市政治倫理条例(平成9年条例第1号。以下「条例」という。)に規定する政治倫理のうち、市議会議員(以下「議員」という。)に関する基準を次のとおり定める。

(基本原則)

1 条例第2条第1項第1号は、議員の責務とともに政治倫理基準を示したものであり、条例第1条に規定される目的及び条例第2条第1項本文の規定の趣旨に沿って解釈されなければならないものである。

(議員の資質向上及び議員としての矜持)

2 議員は、市民全体の奉仕者として品位と名誉を保持し、市民の信頼にこたえるべく、調査、研究その他の不断の努力をしなければならない。また議員は、市民の信頼に値する倫理性が求められることを自覚し、議員としての矜持を自覚しなければならない。

(憲法の遵守及びいわゆる「口利き」の制限)

3 議員は、憲法に規定する市民の基本的人権を尊重し、特に憲法に掲げる平等の原則を旨とし、決して一部のものの利益の代表者ではないこと

を自覚しなければならない。よって不当に一部のものの利益につながるような、いわゆる「口利き」行為を自粛しなければならない。

(議員以外の立場における倫理上の制約)

4 議員は、自己の地位による影響力を不正に行使することを防ぐため、議員以外の身分もしくは役職、または一市民の立場で要望等をされる場合にあっても、相手方は議員であるという認識で対応されることが予想されるため、すべて議員としての要望等に含まれるものと自覚しなければならない。

(人事への個別介入の禁止)

5 議員は、自己の地位による影響力を不正に行使することを防ぐため、個別事案にかかる人事異動その他人事上の措置に対する要望等を行ってはならない。

# 予算特別委員会

## 平成24年度予算額 217億7,000万円

平成24年度予算は、予算特別委員会で3月12日・13日の2日間にわたり、慎重に審査を行いました。それぞれ専門的な視点から審査を行い、反対・賛成の立場から討論があり、採決の結果、賛成多数で可決しました。予算特別委員会における一般会計予算のおもな審査内容は、次のとおりです。

### 市長選を控え、平成24年度予算は

(問) 新年度予算は、5月の市長選挙を控えて骨格予算であるが、どのようなものが新年度予算に反映されているのか。

(答) 市長選挙を控えているが、義務的経費、継続的な事業については、新年度予算に計上している。

### 新年度予算のマネジメント強化の意味は

(問) 新年度予算は、マネジメントをさらに強化した予算だと言われているが、具体的にはどういう意味か。

(答) ここ数年来、財政が非常に厳しいため、各部門において、危機感を持って事業に取り組んでおり、民間委託を活用するなど予算構築においてもコスト意識を持ち、意識改革に努めたものである。

### 実質公債費率の上昇については

(問) 実質公債費率が年々上がっているが、抑制する努力はされたのか。

(答) 平成24年度までは、過去の借り入れ等の関係で実質公債比率が高くなり、今後においても、急速に回復するものではないが、今日までにプライマリーバランスをとりながら、事業の抑制やさまざまな行政改革を行い、実質公債比率が25%を超えないよう努力してきた。

### 保育所の公設民営化の費用対効果は

(問) 平成24年4月から関屋保育所が公設民営化される予定であるが、その費用対効果はどうか。

(答) 平成24年度は公設民営化となるので、約1千万円程度の減額である。なお、完全に民設民営化になると、約6千万円程度の減額になる。



### 学校校舎の耐震補強工事は

(問) 市内の幼稚園、小学校、中学校における耐震補強工事は、何年度に終了するのか。

(答) 平成27年度にすべて終了する予定をしている。

### 東日本大震災に伴う歳入の影響額は

(問) 東日本大震災に伴う歳入の影響額は、どのようになるのか。

(答) 東日本大震災に伴う歳入については、直接大きな影響はないが、特別交付税については、今後、推移を見守る必要がある。

## 反対討論

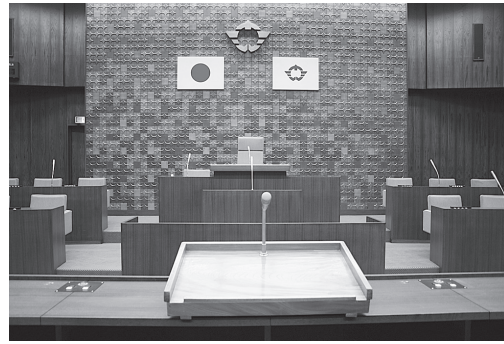
新年度予算については、子宮頸がんワクチンなど予防接種事業、保健センター新設事業など予算に計上されており評価できるが、小学校給食の民間委託については、給食の安全性に疑問が残る。また、学校の先生が少ないため、教職員予算をふやして香芝市独自の30人学級を進めていくべきである。さらに、スポーツ公園に係る予算も、基本的に反対である。そうした事から新年度予算については、反対である。

## 賛成討論

昨今の厳しい経済情勢のなか、自主財源では市税の微増はあるものの、団塊の世代の退職による退職手当や、社会保障による扶助費の増大により、本市の財政は非常に厳しい状況にある。このようななか、より一層の滞納対策の強化、使用料や補助金の適正化、財政の健全化への取り組みなど各費目にわたり評価ができるので、新年度予算が適正に執行されることを要望し、賛成する。



3月定例会の一般質問は3月21日に行われ、6人の議員が市政全般にわたり市の見解をただしました。その内容は次のとおりです。  
(掲載は質問順)



<http://www.gijiroku.net/city.kashiba/>

**一般質問 質問者・項目**

**池田 英子**

- 保育所の環境について
- 子ども子育て新システムについて

**池原 道生**

- ごみ減量化について

- 観光と香芝ブランドについて
- 中学校の武道の取り組みについて

**小西 高吉**

- 教育環境と青少年健全育成について
- 安心して産み育てられる環境について

**中山 武彦**

- 災害対策について
- 中和幹線の供用開始について
- 介護保険について

**芦高 省五**

- 中小企業振興のための方策について
- 放射線測定器を各学校・地域に設置することについて
- 小・中学校や幼稚園での耐震化の進捗状況について

**中村 良路**

- 犯罪のない安心安全な街づくりについて。また、青少年の非行や犯罪防止について
- 東北大震災の災害廃棄物の焼却について
- 少子化について

※詳細は、香芝市議会のホームページに掲載予定です。

**池田 英子 議員**

**▼保育所の環境について**

(問) 保育所の職員は、正職員よりも臨時職員のほうが多いと聞いているが、現状はどのようなになっているのか。

(保健福祉部次長) 保育所を取り巻く環境が多様化しており、公立保育所の民営化や将来の少子化を見据え、臨時職員を雇用して対応しているのでその割合が高くなる。



▲4月から民営委託された関屋保育所

(問) 臨時職員は不安定な雇用であり低賃金と思うが、給与はどのようになっているのか。

(保健福祉部次長) 臨時職員の給与は、近隣市町の支給状況や民間企業などと比較検討をして決定している。

(問) 正職員と比べても昇給はわずかだと思いが、この点についてはどのように考えているのか。

(保健福祉部次長) 臨時職員も昇給

は行っており、待遇面において特に劣っているとは考えていない。

(問) 臨時職員は1年契約であるが、スキルの高い職員に残ってもらうために、期間の延長はできないのか。

(企画部長) 臨時職員は、地方公務員法で定められた1年単位の期間であり、任期付き職員については、3年から5年の期間である。

(問) 保育所で児童が事故に遭った場合は、だれが責任をとるのか。

(保健福祉部次長) 事故が起きたときは、保育所や児童福祉課が窓口となって対処する。

(問) 保育所の入所児童数が定員をこえている現状を、どのように考えているのか。

(保健福祉部次長) 保育所では、待機児童を解消する策として、定員をこえて入所できる弾力化が認められており、現在は、この弾力化を実施している状況である。

(問) 現在、保育所では保育室が不足しているが、保育室をふやす計画はないのか。

(保健福祉部次長) 近い将来幼稚園と保育所が総合こども園になった場合は、保育室はかなり緩和されると考えている。

今後は、国の動向を見ながら取り組んでいきたい。

(問) 幼稚園では児童数が定員に満たないところもあるので、保育所の児童数を緩和するために、幼稚園で

の3年保育はできないのか。

〔教育部長〕保育所と幼稚園では、保育時間に対するニーズが異なるので、幼稚園で3年保育を実施しても児童数緩和の効果は限定的であると考えている。

〔問〕なぜ、幼稚園で3年保育を実施してこなかったのか。

〔教育部長〕3歳児を受け入れるためには、施設面での増改築が必要となるため実施が困難であった。現在は、私立幼稚園で3年保育の対応をしていただいている。

▼「子ども・子育て新システム」について

〔問〕子ども・子育て新システムの「総合こども園」については、どのように考えているのか。

〔教育部長〕子ども・子育て新システムに関する基本制度設計案が国から示されて、幼・保一本化に関する方向性が明らかになりつつある。今後は、公立や民間にかかわらず幼稚園・保育所のあり方など、総合的な計画づくりが必要であると考えている。

〔問〕子ども・子育て新システムの事業計画の策定については、どのように考えているのか。

〔教育部長〕このシステムは、国会に提出中の法案であり、内容は不透明だが、市民の要望や幼稚園・保育所ニーズを把握し、実効性のある計画にしたい。

池原 道生 議員

▼ごみ減量化について

〔問〕ごみの減量化を図るため、現在はどのような取り組みをしているのか。

〔市民生活部次長〕ごみの分別収集やマイバッグ持参運動、PTAや子供会を中心に集団資源回収に取り組んでいる。また、生ごみ堆肥化容器の購入補助、ごみの環境学習や出前講座で啓発活動を実施している。

〔問〕今後は、どのようにごみの減量化に取り組んでいくのか。

〔市民生活部次長〕ごみの減量化については、市民の意識改革が重要であり、あらゆる機会を通じて、ごみ問題の理解と認識を深めていただく事業を進めていきたい。

〔問〕プラスチック製品リサイクルの実証事業のPLA・PLUSプロジェクトについて、市はどのように考えているのか。

〔市民生活部次長〕このプロジェクトは、リサイクルの課題を調査するために、製造企業等が期間を定めて主体的に回収を実施したもので、市としては今後の動向を見守りたい。

▼観光と香芝ブランドについて

〔問〕市ホームページで、観光スポットの撮影ポイントを紹介しているが、評価はどのようなものか。

〔都市建設部次長〕市内外の方へ情報発信ができ、一定の効果があつたと

考えている。

〔問〕今後の取り組みは、どのように考えているのか。

〔都市建設部次長〕本市に興味を持っていただき、来ていただけるよう情報提供をしていきたい。

〔問〕市内の6店舗で米粉商品販売されたが、そのときのアンケート結果は、どうであったのか。



▲市内産の米粉で作られた“米粉パン”

〔都市建設部次長〕「米粉の食感がよい」「今後も販売してほしい」「新商品を作ってほしい」など、好評をいただいた。

〔問〕アンケート結果からは、かなりの手応えが感じられるが、今後どのように展開するのか。

〔都市建設部次長〕引き続き、米粉プロジェクトを展開し、他店へも協力を要請して米粉商品の拡大を図りたい。

▼中学校の武道の取り組みについて

〔問〕平成24年度から中学校で武道やダンスが必修となるが、どのよう

に取り組むのか。

〔教育部長〕男女とも柔道を行うのは3校で、男子が柔道・女子が剣道をするのは1校であり、ダンスは4校とも取り入れる予定である。

〔問〕必修となる武道の授業時間数は、どれくらいになるのか。

〔教育部長〕標準の時間数として、10時間から13時間である。

〔問〕市内での柔道の事故件数と、その内容はどのようなものか。

〔教育部長〕平成22年度は、授業で4件と部活動で1件の事故があつた。平成23年度は、授業で4件の事故があり、いずれも軽傷である。

〔問〕柔道での死亡事故や障害事故を防止するための対策は、どのように考えているのか。

〔教育部長〕具体的に、「武道の特性や禁止事項の確認」「生徒の能力に応じた実技指導」「整理運動の充実と健康確認の徹底」「精神面や礼法」を重視した指導により、事故防止に努めたい。

〔問〕死亡事故や障害事故を防ぐために、防護畳の導入はどのように考えているのか。

〔教育部長〕畳がずれて、そのすき間でケガをする事故を想定した場合、4校の内2校は、はめ込み式の畳で特に問題はないと考えている。しかし、他の2校は、はめ込み式の畳ではないので、裏にストッパー機能がある畳で対応したい。



小西 高吉 議員

▼施設の充実について

〔問〕 学校で老朽箇所を発見した場合は、早期に教育委員会へ報告があるのか。

〔教育部次長〕 学校で判断して簡易な修理は学校予算で対応し、それ以外は教育委員会に報告がある。

〔問〕 老朽化した学校施設は、今後どのように対処していくのか。

〔教育部次長〕 児童・生徒の安全を第一に考え、老朽化した箇所の優先順位を判断し改修したい。

〔問〕 生徒数が増えている学校施設は、どのように対応していくのか。

〔教育部次長〕 画一的な整備は困難であるが、運営面で創意工夫した対応を考えている。

▼中学校給食の実施について

〔問〕 中学校で完全給食の要望があるが、県内での中学校給食の状況はどのようになっているのか。

〔教育長〕 平成22年度の調査では、公立中学校の約70%で完全給食が実施されている。

〔問〕 今後の中学校給食については、どのように考えているのか。

〔教育長〕 各学校のPTA会長等で組織する学校給食会理事会の協力を得て、生徒や保護者ニーズを把握し、財政状況をみて検討したい。

▼スポーツ少年団について

〔問〕 スポーツ少年団に対して、市は

どのような支援をしているのか。

〔教育部次長〕 学校施設を可能な限り提供し、スポーツ少年団が開催する大会費用や研修費用等に活動事業補助金を出している。

〔問〕 スポーツ少年団が市外チームと交流試合をする場合に、施設使用料が市外利用者と同じ料金になるが、見直すことはできないのか。

〔教育部次長〕 スポーツ少年団本部事業として開催する交流試合等の施設使用料は、青少年健全育成の観点から、市外の状況も調査して総合的に調整していきたい。

▼届け出での受付窓口について

〔問〕 市役所の出生届時の手続は、どのように行っているのか。



▲市役所市民課の受付窓口

〔市民生活部長〕 市民課で出生届による住民票の記載を行い、併せて

加入健康保険の説明、出産一時金及び乳幼児医療の手続、児童福祉課で子ども手当の申請案内をしている。

〔問〕 市民課の窓口で、これらの手続を一本化できないのか。

〔市民生活部長〕 今後、関係課で協議して検討をしたい。

〔問〕 クラウドを導入することで、窓口の一本化はできないのか。

〔企画部次長〕 クラウドシステムにより、各業務間の効率的な連携をはかっていきたい。

▼香芝市の救急医療を守る委員会の現状について

〔問〕 香芝市の救急医療を守る委員会は、どのような協議をしているのか。

〔保健福祉部次長〕 平成21年度から2年間に5回開催し、休日や夜間の救急医療体制の整備について協議を行っている。

〔問〕 休日や夜間の救急医療体制等については、具体的に検討したのか。

〔保健福祉部次長〕 検討をしたが、医師の確保や財政面で負担が大きいため、当面は難しいという結論になった。

▼小児科・産科の市として考えるについて

〔問〕 小児科・産科・救急病院について、どのように考えているのか。

〔保健福祉部次長〕 本市は、子どもや妊産婦の比率が高く、また、高齢化も進むと考えられるので、その科目の医療体制の充実をはかりたい。

〔問〕 その科目の病床数が不足しているが、どのように対応したのか。

〔市長〕 市内の3病院へ増床を要請したが、医師不足等で了承が得られなかった。今後は、同じ問題を抱える近隣の市町と連携していきたい。

中山 武彦 議員

▼災害対策について

〔問〕 庁舎の倒壊を想定した場合に、職員はどのような初動態勢をとるのか。

〔総務部長〕 来庁者の安全を確保して、負傷者の確認や避難経路を確保し、速やかに避難誘導を行う。

〔問〕 災害時のクラウドの活用について、このシステムのメリットをどのように活用していくのか。

〔企画部次長〕 データ管理をはじめ、不正アクセスやウイルスにも対応しており、セキュリティは高いレベルにある。今後、被災者支援システム等の事業を進めていきたい。

〔問〕 通信回線の破壊や電源の確保等、クラウド自体の課題はないのか。また、データ管理センターが電源を喪失する心配はないのか。

〔企画部次長〕 データ管理センターは、強固な建物で地震性にもすぐれており、補助電源も有しているので安全性は確保されている。

〔問〕 クラウドを活用した業務継続計画については、どのように検討しているのか。

〔企画部次長〕 災害時には一定の通常業務も必要となるので、早期に業務継続計画の取り組みを進めていきたい。

〔問〕 災害時の要援護者支援リストの更新は、どのように行うのか。

〔市民生活部長〕 対象者には郵送による照会等を行い、各自治会や防災組織と情報を共有して進めていきたい。

〔問〕 市内での福祉避難所の指定は、どのようなになっているのか。

〔市民生活部長〕 要援護者の対応避難所として、総合福祉センターと特別養護老人ホームすばるを指定している。また、市内の介護老人保健施設にも協力を要請している。

〔問〕 災害時の安否確認は、障害者名簿と避難所名簿を照合すれば確認作業がスムーズにできるが、その点はどうに考えているのか。

〔市民生活部長〕 個人情報問題もあり、今後、対処方法を検討していきたい。

▼中和幹線の供用開始について

〔問〕 開通するメリットと、今後の課題についてはどのようなものがあるのか。

〔都市建設部長〕 メリットは、国道165号線の渋滞緩和や移動時間の短縮による地域の活性化と考えている。課題は、国道165号線と高田バイパスが合流する穴虫交差点付近での渋滞である。

〔問〕 分離帯の植栽が繁茂して視界の悪いところもあるが、どのように点検を行うのか。

〔都市建設部長〕 供用に際しては再度確認を行い、交差点付近の分離帯の安全対策を十分に行いたい。



▲植栽がある中和幹線の交差点付近

〔問〕 交通量が増加したときの騒音振動対策は、どのように考えているのか。

〔都市建設部長〕 環境基準の規定値をこえる場合には、県と協議して状況に応じた対策工事を検討したい。

▼介護保険について

〔問〕 第5期事業計画における在宅支援の状況は、どのようにになっているのか。

〔保健福祉部長〕 在宅介護の支援については、ショートステイやデイサービスを充実する計画である。また、随時対応型訪問介護サービス等の整備も検討していきたい。

〔問〕 難聴になると認知症にもつながると思われるので、認知症対策として特定健診時に聴覚検査はできないのか。

〔保健福祉部長〕 老人性難聴と認知症の関係については、科学的な実証を見きわめて、簡易聴覚チェックの導入も検討していきたい。

芦高 省五 議員

▼中小企業振興のための方策について

〔問〕 中小企業の振興については、どのような対策をしているのか。

〔都市建設部長〕 中小企業資金金融制度については、運転資金を平成23年度から3年間は従来の4年から5年に融資期間を延長し、設備資金は従来の5年から7年に延長して利用の促進をはかっている。

〔問〕 近年、大企業と中小企業の賃金格差が拡大しており、日本経済の根幹である中小企業が最も影響を受けている。今後は中小企業政策の根本的な転換が必要であるが、中小企業の振興をどのように考えているのか。

〔都市建設部長〕 現在、市内の商工業振興のために協議会の設立について、関係者と協議を進めており、どのような施策が中小企業の育成につながるかを、今後検討していきたい。

〔問〕 長期にわたる不況のなかで、廃業や倒産等により中小企業の数もかなり減少している。このような状況で、特に地場産業の底上げが大事だと思うが、どのように考えているのか。

〔都市建設部長〕 最近では、中小企業資金融資制度の申請も少なくなっているため、広報紙等で利用PRを

しているが、なかなか需要がない状況である。

また、さまざまな施策を模索するなかで、特許庁の出願状況を調べた結果、平成22年からの2年間で、市内の10企業が特許を申請していることがわかっており、今後は地域産業の底上げができるような施策が必要であると考えている。

▼放射線測定器を各学校・地域に設置することについて

〔問〕 放射線測定器を購入して、必要などころへ貸し出していくというような考えはあるのか。

〔危機管理監〕 県内では、奈良市大森町にある県の保健環境研究センターで放射線の測定数値を公表しており、直近の調査では過去の平均値の範囲内で安定した数値である。

なお、現状では市内の学校等へ放射線の測定器を設置することは考えていない。

〔問〕 市で購入しないのなら、県の保健環境研究センターの放射線測定器は借りられないのか。

〔危機管理監〕 県の放射線の測定器は、設置型となっているので借りることはできない。

〔問〕 市内で放射線の測定をしてほしい場合は、どのようなすればいいのか。

〔危機管理監〕 昨年、県が市役所の南側駐車場で放射線の測定をされており、個々に対応した放射線の測定は考えていない。



▼小・中学校や幼稚園での耐震化の進捗状況について

〔問〕小学校や幼稚園、保育所の耐震化の状況は、どのようになっているのか。



▲耐震工を実施した香芝中学校体育館

〔教育部長〕平成22年度末でI S値0・3未満の普通教室の耐震工事は完了し、平成23年度末の耐震化率は、小・中学校で79・2%、幼稚園で57・1%である。

また、平成23年度末で小・中学校、幼稚園の21棟が未耐震施設で残っており、平成24年度には下田・二上小学校の体育館と、下田・関屋・三和の3幼稚園で耐震工事を実施する予定である。

〔保健福祉部次長〕平成22年度に閑屋保育所の耐震補強工事を行っている。平成24年度には志都美保育所の耐震補強工事を行う予定であり、残りの保育所についても順次工事を実施する計画である。

中村 良路 議員

▼犯罪のない安心安全な街づくりについて。また、少年少女の非行や犯罪防止について

〔問〕コンビニや公園等で少年少女がたむろしている実態と、通報の件数はどれくらいあるのか。

〔教育部長〕放課後や塾の帰りに中学生がコンビニで待ち合わせ場所として集まったり、公園で他校の生徒としゃべったりしている。平成23年度の通報件数は、28件である。

〔問〕市内での平成23年度の犯罪件数と主な内容は、どのような犯罪なのか。また、未成年者の犯罪についてはどうか。

〔市民生活部長〕香芝署管内での犯罪件数は約1,080件で、全体の約9割が窃盗犯であり、次に自動車盗、車上ねらい、空き巣となっている。また、未成年者の犯罪は万引きや自転車盗の比率が高い。

〔問〕市内での最近の犯罪傾向は、どのような状況なのか。

〔市民生活部長〕現在は、車上ねらいや高齢者が被害者となる「振り込め詐欺」が増加している。

〔問〕市内の防犯カメラの設置台数は、どのようになっているのか。

〔市民生活部長〕市で設置しているのはJ R志都美駅だけであり、個人や事業所等で設置されているものは、現在把握していない。

〔問〕今後、犯罪を抑止するために、自治会や警察との連携についてはどのように考えているのか。

〔市民生活部長〕市と警察が犯罪情報を共有して、自治会等へ積極的に情報発信をしていきたい。

〔問〕家庭・学校・店舗等への非行防止の啓発活動については、どのような取り組みをしているのか。

〔教育部長〕青色防犯パトロール車により、巡視や広報啓発活動を行うとともに、コンビニやビデオ店へは関係機関と合同で立入調査を行っている。

▼東北大震災の災害廃棄物の焼却について

〔問〕阪神・淡路大震災時に、災害廃棄物の処理については、どのような対応をしたのか。

〔市民生活部次長〕パッカー車3台で現地へ出向き、約一週間にわたって避難場所のごみ収集作業等の支援活動を行った。

〔問〕東日本大震災の災害廃棄物を本市で焼却する場合は、どれぐらいの量を焼却できるのか。

〔市民生活部次長〕香芝・王寺環境施設組合で処理できるのは、一日に110トンから120トンであり、現在、本市と王寺町で毎日約110トンのごみを処理している。現時点で災害廃棄物を受け入れるのは非常に厳しい状況である。

〔問〕例えば、2トン車1台だけでも

災害廃棄物を受け入れてと言われるから、どのように判断するのか。

〔市民生活部次長〕災害廃棄物の受け入れにあたっては、安全性の確保が最重要と考えており、今後、県内の動向を見て調整をはかりたい。

▼少子化について

〔問〕少子化の原因を、どのように考えているのか。



▲公園の芝生で遊ぶ子どもたち

〔保健福祉部次長〕原因としては、仕事と子育ての環境整備の遅れ、結婚や出産の価値観の変化、子育ての負担の増、経済的な不安定の増大、この4点と考えている。

〔問〕少子化を解消する対策は、どのように考えているのか。

〔保健福祉部次長〕出産や育児、仕事の両立が課題であり、今後は保育支援や育児休業等の再就職促進の雇用システムが必要である。

市では、集いの広場事業等で育児不安の相談や情報提供、精神的ケアを推進している。

### 香芝市議会情報のご案内

本会議(一般質問など)や常任委員会(総務財政委員会、民生文教委員会、建設水道委員会)、議会運営委員会などの会議録の検索、議案の議決結果、議員紹介、議会改革のあゆみ、傍聴の手続きなど、香芝市議会の情報を幅広くご覧いただけます。

#### 香芝市議会ホームページ

<http://www.city.kashiba.lg.jp/shigikai/>

※ 香芝市ホームページからも、議会の情報をご覧いただけます。

#### 香芝市ホームページ

<http://www.city.kashiba.lg.jp/>

### わかりやすく、信頼される 香芝市議会を目指して…

#### 議会の傍聴においでください

傍聴を希望される方は、市役所5階議会事務局で、傍聴人受付簿に住所、氏名及び年齢を記入していただくと、傍聴することができます。



◆定員/議場 44人

委員会室(委員長が別に定める)

●本会議の状況は、庁舎1階ロビーのモニターでもご覧になれます。

## 議 会 日 誌

平成24年

●2月

22日 香芝・王寺環境施設組合議会

葛城地区清掃事務組合例月出納検査

議会運営委員会

香芝・広陵消防組合議会

第3回議員倫理特別委員会

葛城広域行政事務組合議会

葛城地区清掃事務組合議会

●3月

5日 本会議

総務財政委員会

民生文教委員会

8日 建設水道委員会

9日 13日 予算特別委員会

15日 第4回議員倫理特別委員会

21日 一般質問

26日 本会議

28日 中和幹線開通式

●4月

16日 近畿市議会議長会定期総会

岳のぼり

葛城地区清掃事務組合例月出納検査

葛城広域事務組合例月出納検査

●5月

9日 議会だより編集委員会

11日 奈良県市議会議長会局長会

14日 京都府精華町議会視察研修来庁

18日 奈良県市議会議長会



▲予算特別委員会



▲中和幹線開通式



▲議員倫理特別委員会

### 編集後記

二上山の木々に当たる日差しは明るく、肌に当たる風も暖かく感じられる季節となりました。こうしたなか、3月28日に中和幹線が全線開通しました。国道の渋滞の緩和をはじめ、香芝市から橿原・桜井方面への所要時間の短縮、また、西名阪自動車道の香芝ICへのアクセスがスムーズになるなど、非常に便利になりました。

さて、私たち議員の任期は、残すところ約10ヶ月となりました。残りの任期も市政のチェック機関として、皆さん方が「香芝に住んで良かった」、「これからも住み続けたい」と実感出来るまちづくりのために、全力を尽くします。

ご期待ください。  
議会だよりは、議会の活動をわかりやすく伝えるよう努めています。ご意見等がありましたら、議会だより編集委員会(議会事務局内)までお寄せください。  
(問合せ) TEL76-2001

- 議会だより編集委員会
- 委員長 小西高吉
  - 副委員長 中山武彦
  - 委員 黒松康至
  - “ 荻高省五
  - “ 下田 昭
  - “ 橋本元秀
  - “ 奥山隆俊